



Title	ウェブサイト その他
Author(s)	
Citation	OUFCブックレット. 2017, 11, p. 60-63
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/60502
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

その他

【叻報】

<http://www.lib.nus.edu.sg/lebao/index.htm>

シンガポール大学による。シンガポール発行の中国語新聞『叻報』のデジタルライブラリ（シンガポール大学による）。1887年8月～1932年3月の各号をPDFで閲覧できる。

* * *

【The China Quarterly : Cambridge Core】

<http://www.cambridge.org/core/journals/china-quarterly>

中国・台湾研究の総合学術誌『The China Quarterly』（ロンドン大学東洋アフリカ研究学院編集，ケンブリッジ大学出版局出版）のウェブサイト。バックナンバーの全文閲覧と検索ができる。

【China Vitae（中国名人録）】

<http://chinavitae.com/>

【Chinese Foreign Policy Database】

<http://digitalarchive.wilsoncenter.org/theme/chinese-foreign-policy-database>

Wilson Center が運営するデータベース。1945年以降の中国の政治・外交文書の英語や中国語で閲覧できる。中米，日中関係の外交文書や会談録をふくむ。これ以外にも冷戦史に関するコレクションが多い。

【Council on East Asian Libraries】

<http://www.eastasianlib.org/>

AAS (Association for Asia Studies) によってつくられた、アメリカのアジア関係図書館のサイト。中国研究の E リソースガイド (http://www.eastasianlib.org/ccm/CS_index.shtml) やアジアインターネットリソースポータル (<http://www.eastasianlib.org/guidestores.htm>) は有用。

【Harvard University Library, Visual Information Access】

http://via.lib.harvard.edu/via/deliver/advancedsearch?_collection=via

ハーバード大学図書館のデジタルイメージ統合検索システム。同図書館所蔵の Hedda Hammer Morrison コレクションなどがアップされている。たとえば H.H.Morrison コレクションは、1933 年から 1946 年まで中国にいたモリソンが撮影した 5,000 枚以上の写真から構成されているもので、VIA の検索システムから見ることができる (<http://hcl.harvard.edu/libraries/harvard-yenching/collections/morrison/>)。また Pickens, Jr. コレクションは、1930 年代、中国西北部のムスリム居住地域に宣教に赴いた Pickens 夫妻の撮影した写真や収集した資料から構成されたコレクションである (<http://hcl.harvard.edu/libraries/harvard-yenching/collections/pickens/index.cfm>)。

【Harvard Yenching Library】

<http://hcl.harvard.edu/libraries/harvard-yenching/>

ハーバード大学イェンチン図書館。Hedda Hammer Morrison コレクションと Pickens, Jr. コレクションのほか、中国の地方誌や明清古籍や国共両党研究に関わる史料などを所蔵している。

【Marxist Internet Archive】

<http://marxists.anu.edu.au/chinese/index.html>

毛沢東、劉少奇、周恩来などの一部文章を収録しているほか、陳独秀、彭述之、王凡西など「中国トロツキスト派」の人々の選集や文章も収録されて

いるのが特徴。

【Million Book Project Universal Digital Library】

<http://www.ulib.org>

2001年に計画が開始され、2007年秋に公開された、米、中、印、エジプトなどによる国際電子図書館プロジェクト。現在の蔵書数は140万冊であるが、そのうち中国語図書は97万冊を数える。おもに北京大学、清華大学、復旦大学、南京大学、浙江大学図書館に所蔵されている中国の伝統文化や文学、歴史に関する図書が提供される予定である。

【Modern china studies（当代中国研究）】

<http://www.modernchinastudies.org/>

アメリカの国際中国研究誌『当代中国研究』は1990年創刊。バックナンバーの全文閲覧と検索ができる。

【UCLA Center for Chinese Studies（中国研究中心）】

<http://www.international.ucla.edu/ccs/home>

カリフォルニア大学ロサンゼルス校中国研究センター。最新の研究動向のほか、「Podcasts」（<http://www.international.ucla.edu/ccs/podcast>）では、セミナーを視聴することができる。

【UCSD Modern Chinese History】

<http://ucsdmodernchinesehistory.wordpress.com/>

カリフォルニア大学サンディエゴ校中国近現代史専攻。英語による書評ともに、文献目録・アーカイブ案内が充実している。

【Virtual Shanghai】

<http://www.virtualshanghai.net/>

フランスのクリスチャン・アンリオ教授らが中心となって運営する。1840

年から現在までの上海に関する文字資料・画像・地図などを網羅する。

【Yale University Library Divinity Library : The Nanking Massacre Project】

<http://web.library.yale.edu/divinity/nanking>

イエール大学神学大学院図書館「The Nanking Massacre Project」のサイト。南京大虐殺を目撃したアメリカの宣教師らによるドキュメントと写真のデジタルアーカイブ。「photos&Film」(<http://web.library.yale.edu/divinity/nanking/photographs>)では、日本軍が南京に侵攻した際に撮影されたフィルム2リールの抜粋のほか1937年～1938年の南京の様子を写った写真が公開されている。「Documents」(<http://web.library.yale.edu/divinity/nanking/documents>)でも数多くの関係史料が閲覧できる。